

がまだせ クマモト！
 がまだせ 北中！



百日草



掲揚台のポールにて
 菊池市の空を
 悠々と泳ぐ鯉のぼり

“新時代”を築く105名！

早くも入学式から10日がたちました。少しだけ振り返ります。
 1年生にとって中学校生活最初の学校行事でした。“儀式”の意味と
 さちんと理解し、“立派”な“態度”で式に参加するこができました。最高のスタートできたと思います。

翌日からあたり前の中学校生活が始まりました。ランルームで全校生徒そろって食べる給食、授業ごとに先生がちがうこと、広い木造校舎等々共に学び合う場所は変わらなくても、この環境の大きな変化に。とどいてきたこと。11日(金)には生徒会主催の“新入生歓迎会”が行われました。集会で“座礼”を行う文化は本自身も初めてでした。これは北中の“よき伝統”なのですね。部活動紹介は、おおいに盛りあげました。上の写真は、吹奏楽部の演奏に合わせて踊る先生たちの姿です。これぞ北中の子どもたちの姿と、明か先生方の姿に心癒されたいと思います。新時代を築く105名の子どもたちといふ、本格スタートです！！

がまだせ 熊本

9年の月日が流れました。あの時の県民のあい言葉は“がまだせ熊本”
 2016年4月4日午後9時26分は職員室にいました。突然の激しい揺れに一瞬からたが回りました。次の瞬間自分の机の下にぐりこんでじっとしてました。
 数度となく続く余震の中、4月6日午前1時25分後に本震と報じられた二度目の大きな地震により熊本は甚大の被害を受けました。

熊本地震から9年... この春は熊本地震震災ミュージアムKIOKIOにも足を運びました。あの当時は本当に多くの人が苦難を乗り越えました。“がまだせ熊本”、“がんばろう熊本”、という言葉があたりで飛び交っていました。この9年で熊本は確実に前進し、私たちは日常と向き合っていました。

私たちはあの熊本地震で本当にたくさんのことを学んだ気がします。あの時の記憶を風化させないためにここに記します。

それは、復興に向って前を向こうとする姿。多くの人が立ち上がった姿、支えに励まされたこと、そして何より“日常”というものが大切なのだと気づいたこと。あたり前だと思っていたものが突然、目の前からなくなってしまう絶望感の中で、いかに今の生活が恵まれた生活だったのかということに気づくことができました。

水皿の蛇口をひねれば水が出る。スイッチを押せば電気がつく。温かい食事もある。あたり前ではありませんでした。時が経てば苦しかった記憶も少しずつ薄らいでいきます。だが決して忘れてはならない記憶として、毎年この時期が来たら思い出してほしい。

あたり前の日常に感謝

あの震災と向き合ってきた私たちから、大切にしたいものは、この日常です。